



# もりがく県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

## 東京湾漁業の資源回復に支援を!

### 2月県議会一般質問に登壇



壇上から地域の課題を訴える森岳県議

### アクア6車線化を要望

森岳議員 アクアライン

森田知事 アクアライン

800円の継続により、どのような効果が出ているのか。

800円の継続により、昨年度の交通量は、通行料金引き下げ前の平成20年度と比べて約2・3倍に増加し、観光振興や企業立地の促進

秋冬季の厳しい波浪からアサリ稚貝を保護するため、漁業者と被覆網や竹柵等の設置に取り組んでいますが、設置作業や汚れた網の交換などに労力を要し、作業負担の軽減が課題となっています。

また、近年はアサリの餌となるプランクトンの不足も稚貝が減少する因と考え取り組んでいるのか。

**要望** 漁師さんたちに寄り添つていただき、少しでも魅力ある水産業、東京湾漁業の回復に努めていただきたい。

このため県では、センター職員の育成を目的とした研修に「地域ケア会議の推進」などのカリキュラムを取り入れるとともに、在宅医療・介護連携に関する相談機能の向上を目的とした研修を開

木更津市選出で自民党若手のホープ、森岳(もり・がく)県議は、1期目最後の2月定例県議会の一般質問に登壇し、東京湾漁業の振興に関連し、減少傾向が続くアサリ稚貝の保護対策や、アクアラインの渋滞対策などで森田知事ら県執行部の考え方をただしました。また、森岳県議は、本会議後に開催された新年度予算案を集中審議する予算委員会でも登壇し、これから木更津港のあり方や、金田地区の土地区画整理事業の進捗状況などを質問し、地域の声をしつかりと県政に届けました。森岳県議の県議会での活動をご報告します。

**農林水産部長** 県では、秋冬季の厳しい波浪からアサリ稚貝を保護するため、漁業者と被覆網や竹柵等の設置に取り組んでいますが、設置作業や汚れた網の交換などに労力を要し、作業負担の軽減が課題となっています。

また、近年はアサリの餌となるプランクトンの不足も稚貝が減少する因と考え取り組んでいるのか。

**要望** これからも漁協、支援するための経費を新たに平成31年度当初予算案に計上したところです。

このため県では、センターに業務が集中している現状について、県どのように支援しているのか。

**健康福祉部長** 地域包括支援センターは、地域包括支援センターに業務が集中している現状について、県どのように支援しているのか。

**要望** 東京湾アクアラインの6車線化の実現に向け、関係機関への働きかけを要望します。

### アサリ稚貝の保護を訴え

#### 秋季の稚貝保護

**森岳議員** アサリ資源を増やすためには発生する稚貝を守ることが必要です。

県の指導のもと漁業者により稚貝の保護対策が進められていますが、残念ながら資源の回復には至っていません。

そこで伺います。秋冬季のアサリ稚貝の保護対策における課題は何か。また、その解決のためにどのように取り組んでいるのか。

さらに、スズガモなどの鳥類による食害も問題となっていますことから、漁協が行っていることから、漁協が行う扱い払い等の取り組みを支援するための経費を新たに平成31年度当初予算案に計上したところです。

このため県では、センター職員の育成を目的とした研修に「地域ケア会議の推進」などのカリキュラムを取り入れるとともに、在宅医療・介護連携に関する相談機能の向上を目的とした研修を開

が図られているところです。アクアライン着岸地の木更津市においても、人口が増加するとともに、大型商業施設の進出や拡張により、新たな雇用が創出されています。今後も新たな企業進出が計画されるなど、地域経済に好循環が生まれています。

木更津市において、幹線道路の整備や渋滞時間帯を避けた分散利用を図る取り組みはどうか。

**県土整備部長** アクアラインの渋滞対策としては、東日本高速道路会社では、トンネル内の速度低下を防止するため、「ペースメーカーライト」を設置しています。また、アクアラインの6車線化の実現に向け、関係機関への働きかけを要望します。

### 地域包括ケア業務

**森岳議員** 地域包括支援センターに業務が集中している現状について、県どのように支援しているのか。

このため県では、センター職員の育成を目的とした研修に「地域ケア会議の推進」などのカリキュラムを取り入れるとともに、在宅医療・介護連携に関する相談機能の向上を目的とした研修を開

●木更津市と県政についてのご意見をお寄せください

**森岳** 県議事務所  
TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051  
URL [www.mori-gaku.jp/](http://www.mori-gaku.jp/) E-mail [info@mori-gaku.jp/](mailto:info@mori-gaku.jp)

た、昨年12月から、AIを活用して渋滞を予測し、通過所要時間を提供することにより、渋滞時間帯を避けた利用を促しています。

木更津市において、幹線道路の整備や渋滞時間帯を避けた分散利用を図るため、国・県・地元市や商工団体などからなる「アクアライン周辺道路交通円滑化プロジェクトチーム」において、プロジェクトチームにおいて、幹線道路の整備や渋滞時間帯を避けた分散利用を図る取り組みの強化など、ハード・ソフトを組み合わせた対策の検討を進めています。

木更津市において、幹線道路の整備や渋滞時間帯を避けた分散利用を図る取り組みは、大型商業施設の進出や拡張により、新たな雇用が創出されています。今後も新たな企業進出が計画されるなど、地域経済に好循環が生まれています。

# 2月県議会予算委員会質疑に登壇



質疑者

自席で答弁を聞く森岳委員

**森岳委員** 金田東地区は、都市再生機構による事業がすでに完了し、大型商業施設が立地し、住宅建設も進行しています。一方、千葉県が施行している金田西地区では、

## 金田西地区の区画整理事業

森岳委員 金田東地区は、政治活動の1丁目1番地と宣言する森岳

県議は、2月県議会の予算委員会に登壇し、木更津港の港湾整備のあり方と、金

田西地区の区画整理事業の進展状況の2点に絞って質問しました。予算委員会での森岳県議の質疑を特集します。

森岳委員 金田東地区は、都市再生機構による事業がすでに完了し、大型商業施設が立地し、住宅建設も進行しています。一方、千葉県が施

行している金田西地区では、

造成工事が進められており、

来年度の当初予算案でも事

業費として約26億円が計上

されています。金田西地区の

現在の整備状況と、来年度

の整備予定はどうか。

都市整備局長

県ではこれ

まで、幹線道路やその周辺の土

地及び地区北側の大型街区の

整備などを進めてきました。

来年度の予定としては、引

き続き幹線道路の整備を進

めるとともに、既存集落周

辺の生活道路、公共下水道

等の整備やそれに必要な家

屋の移転補償などを進める

予定とっています。

森岳委員 同地区の事業

計画の変更状況はどうか。

市街地整備課長

事業

計画の変更は、これまで地

元説明会や変更案の縦覧な

ど、地元地権者等の意見を

## 保留地の処分状況

森岳委員 金田西地区の

保留地処分状況はどうか。

市街地整備課長

保留

地処分は、全体約28ヘクタ

ールのうち、昨年までに約

1・3ヘクタールの処分が完

了しています。

しかし、今年に入つてか

これら2つの大型街区を

伺いながら、先般、国の認

可を得たところです。これ

を受けて現在、事業計画変

更の公告手続きを進めてお

り、来月初旬には正式に変

更手続きとなる予定です。

市街地整備課長

事業

費ベースの進捗率で、本年度

末約70%となる見込みです。

森岳委員 今年度の見込

みとして、事業費ベースの進

捗率はどのようになるのか。

市街地整備課長

事業

費ベースの進捗率で、本年度

末約70%となる見込みです。

森岳委員 今後、地権者

の協力を得て、家屋等の移転

保障も課題だと考えます。

現在の家屋移転の進捗状況

と、今後の取り組みはどうか。

市街地整備課長

家屋

移転は対象となる家屋は

99件あり、2月1日現在で

74件の移転が完了し、進捗

率では約75%です。今後は、

主に既存集落周辺の家屋等

の移転を進めてまいります。

また、交渉が長期化してい

る地権者に対する一定の

期限を設けて交渉を進める

など、積極的な対応を図つて

まいります。

今回、事業の期間が延長さ

れますが、家屋移転が概ね3

割程度残っているということ

です。残る地権者への対応を

しっかりと行つていただき、平

成35年度末までに、確実に事

業が完了するよう進めていた

だくことを強く要望します。

## 木更津港の整備方針で要望

森岳委員

木更津港は江戸時代から物資の集散地と

して栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員

森岳委員 木更津港は江戸時代から物資の集散地として栄えてきた歴史があり、木更津港を取り巻く環境は時代とともに大きく変わっています。近年では、木更津市を中心にクルーズ船の誘致活動を推進するこ

とで、観光面での新しい展開を見せていました。これから木更津港の方について、どのように考

えているのか。

県土整備部長

木更津

港の整備方針である港湾計画は、平成22年度に改定しており、その後、港を取り

り、その後で答弁を聞く森岳委員

自席で答弁を聞く森岳委員